

会員企業との交流



年度当初に、各企業の代表者の方々と徳山高専教職員が一堂に会し、1年間の活動計画を討議する場としての総会、各企業の抱える問題又は成果事例の報告などをもとに相互交流を促進するための情報交換を図る場としての交流会や特別セミナーが交流事業の中心になっています。令和3年度においてはCOVID-19感染拡大防止のため、少人数での対面開催、対面とWeb配信同時のハイブリット開催、Web配信など開催方法も様々となりました。

◎ 総 会

開催日	令和3年 6月14日	実施方法	Web開催	対象	131名
内 容	1. 総会				

◎ 技術セミナー

開催日	令和3年10月26日	実施方法	ハイブリット開催	参加者数	27名
内 容	<p>1. 主旨説明 徳山工業高等専門学校 機械電気工学科 三浦 靖一郎</p> <p>2. 講演会「ETHの特徴的な教育と高専教育の可能性」 徳山工業高等専門学校 機械電気工学科 准教授 飛車 来人</p>				
					

開催日	令和3年11月13日	実施方法	対面開催	参加者数	21名
内 容	<p>1. 主旨説明 徳山工業高等専門学校 土木建築工学科 目山 直樹</p> <p>2. 講演会「徳山駅周辺で周南市が進めるPPP」 周南市都市整備部市街地整備課 原田 修司 氏 周南市都市整備部都市政策課 金子 容子 氏</p> <p>3. 主題提起「城下町の記憶 徳山市街地の場合」 徳山工業高等専門学校 都市計画研究室</p>				
					

Ⅲ 徳山高専テクノ・アカデミア事業



開催日	令和3年12月22日	実施方法	対面開催	参加者数	15名
内容	1. 主旨説明 徳山工業高等専門学校 土木建築工学科 目山 直樹 2. 講演会「学校防災を考える ～学校用地の盛土、切土の安全点検～」 九州工業大学非常勤講師，防災情報工学 横矢 直道 氏				
					

開催日	令和4年3月16日	実施方法	オンライン開催	参加者数	18名
内容	1. 「タイ製造業最前線 ～人材開発，現地企業とのマーケティング， 企業連携を支える 3D CAD 活用の今～」				
	<ul style="list-style-type: none"> ・第1部 講師：小林 道氏 (Managing director) SHINSEI SOLUTION RECRUITMENT (THAILAND)CO.,LTD. ・第2部 講師：中村 亮太氏 (Managing director) YN2-TECH (THAILAND) CO.,LTD. ・フリートーク 講師：小林 道氏，中村 亮太氏 特別ゲスト：五十嵐 成治氏 (日系企業金型部門シニアコーディネーター) 				
					

Ⅲ 徳山高専テクノ・アカデミア事業

◎特別セミナー

開催日	令和3年11月17日	実施方法	ハイブリット開催	参加者数	20名
内 容	1. 主旨説明 周南地域の偉人顕彰に関わる産学連携研究会 2. 講演会「台湾を目覚めさせた男 児玉源太郎」 作家、前周南市長 木村 健一郎 氏				
					

開催日	令和3年12月8日	実施方法	対面開催	参加者数	13名
内 容	1. 主旨説明 徳山工業高等専門学校 一般科目 谷本 圭司 2. 講演会「徳山毛利家第三代 毛利元次の集めた文物について」 周南市美術博物館 学芸課長 松本 久美子 氏				
					

徳山下松港 長大橋プロジェクト成果発表会～完結編～

鹿野総合支所跡地活用プロジェクト成果発表会

徳山高専テクノ・アカデミア20周年行事として平成29年度から環境建設工学専攻2年生が中心に活動している徳山下松港 長大橋プロジェクトの最後の成果発表会として、「徳山下松港 長大橋プロジェクト成果発表会～完結編～」と、今年度から取り組みを開始しました「鹿野総合支所跡地活用プロジェクト成果発表会」が2月4日、徳山高専テクノ・アカデミア会員および地域の方々を対象として行われ、学内外から41名のご参加を頂きました。

まずは長大橋プロジェクトのグループが、7年間土木建築を学んだ専攻科生が、新たな魅力の創出、住工分離、災害時の緊急輸送道路などの長大橋プロジェクトの背景の説明や、令和2年度からは土木系学生だけでなく、建築系の学生も参加して活動したことを説明し、長大橋と蛇島の活用方法について提案しました。

前年度までの先輩方の提案を踏まえ、今年度は現地調査（接続道路、測量、水質調査）に力を入れたプロジェクトの集大成となる成果物を作り上げる活動方針が発表されました。調査結果を踏まえて海上ルートを提案し、建設する橋の形状や総工費など具体的な数値で長大橋案を提案しました。

蛇島の活用案では、キャンプ場や海水浴場として利活用する提案がされ、グランピングやコンテナハウスの建設など若者らしい発想での発表となりました。

次の鹿野総合支所跡地活用プロジェクトグループは、前半部を「鹿野の現在・提案内容・活動内容」、後半部を「鹿野支所跡地利用案・原屋社宅の現状と改修案」として発表がされました。

鹿野地区が抱える問題に合う海外の宿泊施設の事業案の提案や、鹿野総合支所跡地に建設するドーム構造の建物内や敷地全体の人の動線を示すなど、イメージしやすく具体的な提案がされました。

発表後のディスカッションの時間では、会場から多くのご意見やご質問が飛び交い大いに盛り上がりしました。終了後に実施したアンケートでは、どちらもよくまとめられた発表と大変好評を得ました。

調査にご協力いただきました皆様に、心より感謝申し上げます。

